

○ 完成予想図



○令和8年（2026年）4月8日撮影

工事全景（パノラマモードで撮影）



1階の様子を一部公開します！（内装がないので、イメージしにくいですが..）
写真左は、玄関ホールにあるエレベーター
写真右は、消防団の消防車（まもるん）と業務で使う普通車用の車庫



3階部分の工事の様子です。3階は事務室や会議室になる予定です。今はまだ、天井なし、内装なしのワイルドな状態なので、完成したらどんな感じになるのか、楽しみです。



3階内壁の型枠と4階を支える柱の型枠工事の様子



○ 令和8年（2026年）5月13日撮影

工事全景（パノラマモードで撮影）



【1階の様子】

写真部分は消防職員が火災現場で着る消防服のロッカーが設置される場所になります。

1階は、ダクトや配線の工事が始まっております。



これまで、仮設の階段で上階に上がっていましたが、1階から2階の階段がついに出来上がり、記念すべき「階段のぼり初め」を行ってきました！



← 職員が主に使用する階段部分

現庁舎の階段は昭和40年代の設計思想で作られたため、急こう配で段差が高いですが、新庁舎はこう配が緩く、段差も低いため足腰の負担も軽減されます。

令和の設計思想に感謝です。

【2階の様子】



2階は主に24時間体制で勤務する消防職員の居住部分となります。
こちらは、職員が仮眠するスペースになります。
現時点では、まだ仕切られてませんが、これから壁が作られ、個室ブースができる予定です。



こちらは、様々な資機材を保管する「資機材庫」になる予定です。

【3階の様子】

以前の撮影では青空が見えて居ましたが、現在は型枠解体工事中です！
今回は立入制限され、詳細は撮影できてません。



【4階の様子】

初公開の4階部分です！

現在は柱・内壁枠工事が行われておりますが、ついに4階建ての全景が明らかになりました。4階は講堂になる予定です。

なんとっ！その高さは、目の前を走る高速道路（札樽道）よりも高い位置になりますので、見晴らしはよさそうですね。



【📷オフショット📷】

今回は東消防署の幹部4名が建築の様子を見学しました。

⇐ 真剣な面持ちで、4階の出来上がりイメージを図面を見ながら確認しています。

○ 令和8年（2026年）6月12日撮影

【新庁舎正面全景】

全面、シートに覆われていますが、外観のシルエットが浮かび上がってきました！



【階段ホール全景】

4階まで続く階段ホールを外から撮影しました。まだ階段は未施工です。正面玄関（右端）はシートに覆われて入れないため、今はシートがめくれている部分から出入りします。



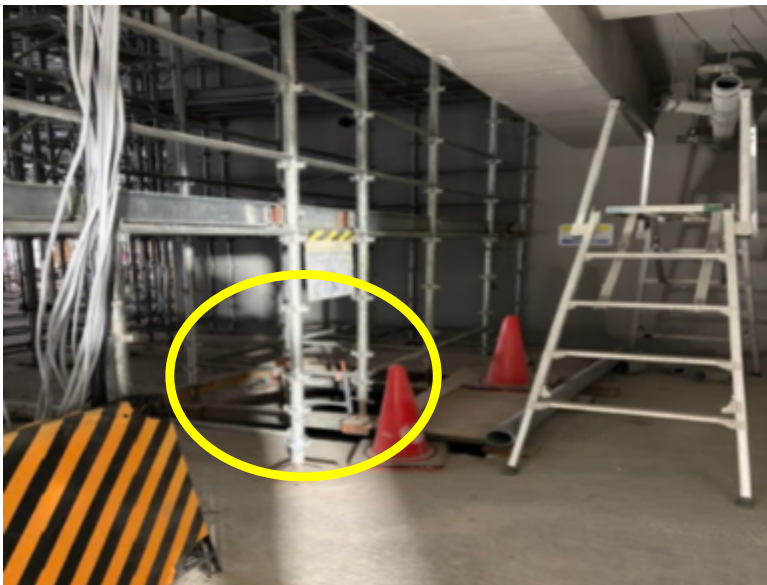
【1階 配管ダクト・配線の様子】

ここは、水難救助資機材庫・タイヤ庫の部分ですが、天井には配管や配線が入り始めています。



【1階 車庫の水難訓練用のピット】

新庁舎には、水難救助隊用の訓練施設があります！まだわかりにくいですが、ここがその場所のようです。



マル枠で囲った部分がピット部分になります。



ピットを覗き込んだら、かなり深いことがわかりました。

【2階 仮眠室部分の様子】

2階は主に交代勤務職員の仮眠室になります。これから仕切りが造られ個室が出来上がっていく予定です。



【2階 訓練スペースと物品庫】

ブロックで囲われた向こう側が訓練スペースになる予定です。
左奥側は物品庫の予定です。新庁舎は収納スペースが充実していて使い勝手がよさそうですね！



【3階 事務室の様子】

3階は、主に事務室と会議室になります。
まだ、ガランとしています。これから事務室と会議室の壁ができて行く予定です。
新庁舎では、予防課と警防課の事務室が1フロアになります。



こちらの黄色枠で囲った部分が「署長室」になる予定です。



【3階 会議室部分】

新庁舎は、会議室や打合せスペースが充実してます。東消防団専用の本部会議室もできる予定です。

※ これで打合せスペースを取り合うことはなくなりそうです！（笑）



【3階 待機室部分】

こちらは、事務室の隣に造られる交代勤務職員が食事を取ったり、休憩したりする部屋になる予定です。

窓が大きく快適に過ごせそうですね。



【3階 訓練スペース】
3階にも訓練スペースができます！



ちょうど、予防課の車庫の上に位置している部分になる予定です。



【3階 トイレ部分】 少々わかりにくいですが、これから排水口が入るための丸い穴がいくつか開いてました。どのようなトイレになるか想像できませんが、職人さんは完成図をイメージしているようで、手際よく真剣に作業してました！

